

頼りになる「速効」!!!

ランネットの切れ味鋭いシャープな速効力。
すばやい殺虫力が多くの農家の皆様に信頼されています。

アブラムシ、スリップス、 大型りんし目害虫に高い効果!

ハスモンヨトウ、オオタバコガなどの
大型りんし目害虫だけでなく、
アブラムシ、スリップス、カメムシ等
吸汁性害虫にも高い効果を発揮します。

環境にやさしく、 収穫日近くまで散布可能。

分解が速やかで、天敵などの密度回復も速く、
環境への負担が少ない剤です。
作物への残留期間が短いので、
キャベツやスイカなどでは
収穫日近くまで散布できます。

新発売

新処方により使いやすく、
新容器により安全に。

殺虫剤 メソミル水和剤

ランネット® 45DF



ニューパッケージ



ランネット[®]45DFの適用害虫の範囲および使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤及びメソシルを含む農薬の使用回数	使用方法
すいか(露地栽培)	ワタアブラムシ	1,000~2,000倍	収穫前日まで	4回以内	散布 1m ² 当り1~2回灌水 1m ² 当り2~3回灌水
いちご	イチゴメセンチュウ、イチゴセンチュウ	1,000倍	仮植床及び定植後生育初期		
	イチゴネグサレセンチュウ		移植活着後(仮植床)		
	コガネムシ類幼虫				
ピーマン(露地栽培)	タバコガ、ハスモンヨトウ		収穫14日前まで		
キャベツ	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ アブラムシ類、タマナギンウワバ	1,000~2,000倍	収穫3日前まで	3回以内	
はくさい	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ、アブラムシ類			2回以内	散布
レタス	ヨトウムシ、アブラムシ類				
	オオタバコガ	1,000倍	収穫14日前まで		
ブロッコリー	ヨトウムシ アブラムシ類	1,000~2,000倍			
ほうれんそう	ヨトウムシ、ミナミキイロアザミウマ			4回以内	散布
ねぎ	シロイチモジヨトウ	1,000倍			
たまねぎ	ネギアザミウマ				
しょうが	ハスモンヨトウ	1,000~2,000倍		3回以内	
だいこん	アオムシ、コナガ、アブラムシ類、ダイコンシンクイムシ		収穫7日前まで		
ばれいしょ	ジャガイモガ、ナストビハムシ、ニジュウヤホシテントウ	1,000倍		5回以内	
	アブラムシ類				
かんしょ	ハスモンヨトウ、ナカジロシタバ			4回以内	散布
だいず	ハスモンヨトウ、シロイチモジマダラメイガ マメシンクイガ、カメムシ類、ツメクサガ	1,000~2,000倍	収穫14日前まで		
てんさい	ヨトウムシ、トビハムシ		収穫7日前まで		
茶	ハスモンヨトウ	1,000倍		2回以内	
	コカクモンハマキ、チャハマキ チャノホソガ、ミドリヒメヨコバイ	1,000~1,500倍	摘採21日前まで		
	チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ	1,000~2,000倍			
たばこ	タバコガ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ		収穫10日前まで		

新容器の開け方



容器がひっくり返らないよう、安定した場所で行ってください。

注意事項

●はくさいに使用する場合、定植後20日以内では薬害のおそれがあるので使用しない。また、定植後20日頃を使用する場合は低濃度(2000倍)で使用する。●ジャガイモガに対しては潜葉幼虫を対象に使用する。●イチゴネグサレセンチュウには、仮植床において苗の移植活着後に7~10日間隔で2~3回ジョロ等で灌水する。●ミナミキイロアザミウマに使用する場合は、初発生時に直ちに散布し、かけ残しのないよういねいに行う。●ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若齢幼虫期に散布する。●石灰硫黄合剤、ホルダー液などアルカリ性薬剤との混用はさける。●DCPA剤との10日以内の近接散布はさける。●蚕には毒性が強いので桑葉にからないように注意する。●本剤の使用に当たっては危害防止のため、使用条件などを誤らないように注意し、特にはじめで使用する場合は、病害虫防除所等の関係機関の指導を受けること。



安全使用上の注意事項

●医薬用外劇物なので取扱いは十分注意する。●薬剤及び薬液が眼に入らないように注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。●散布液調製時または散布作業中は、防護マスク、保護メガネ、ゴム手袋、不透水性防除衣などを必ず着用する。作業後は、手足、顔などを石けんでよく洗い、眼を洗うとともに、うがいをする。●本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。●危険物防止のため対象物が人の胸の高さ以上の場所は使用をさける。特にたばこに使用する場合は、草丈が腰の高さまでの時に使用する。●被覆中の茶園やハウス内など噴霧のこもりやすい場所では、使用しないこと。●高温多湿時の長時間の作業および疲労時の散布をさげ、また多量の散布液を溶びないように注意する。●散布液の漂流飛散による危害を防止するため、特に水田転作大豆などではフォームスプレー(泡散布)を利用するとよい。●風向きに注意し、下に向けて散布。散布液を溶びないように注意する。●通常の使用では、魚介類に対し影響は少ないが一時に広範囲に使用する場合には十分注意する。●盗難、紛失の場合は警察に届け出る。

ランネット普及会

クミアイ化学工業(株)、三共(株)、住化武田農薬(株)、
日本農薬(株)、北興化学工業(株) 五十音順

事務局: デュポン株式会社 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー

ご使用にあたっては製品ラベルをよく読み、適切にお使いください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。
- ※使用後の空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。洗浄水は圃場等でタンクに入れてください。